

石井こうじ議会レポート

令和3年度9月議会が10月14日(木)に閉会しました。今議会は令和2年度決算として昨年度の予算執行状況を審議したほか、一般質問への登壇、中山間地調査特別委員会の開催、また静岡市清掃対策審議会の副会長として活動を行いました。以下ご報告申し上げます。



マンション管理について

マンション管理について、マンションの管理が適正に行われるために行政がどのように関与すべきか質問しました。

マンションの管理については概ね2つの課題に集約されます。一つは老朽化、もう一つは管理の難しさについてです。

令和2年末時点で全国のマンションストック数は約675.3万戸あり、国民の1割超が住居している推計です。その中で建設から築40年を超えるマンションは全体の15%におよび、今後10年後には約2.2倍、20年後には3.9倍となる見込みです。特に、高経年マンションでは、区分所有者である住民の高齢化や空き家化が進んでいると思われ、そのような場合、管理組合の担い手不足や機能低下が懸念され、その結果必要な修繕などが行われなくなる恐れがあります。必要な修繕がされずに放置されると、そこに住んでいる住民だけでなく、周辺の安全性や住環境にも深刻な問題が起こる可能性があります。

もう一つの問題として、管理の難しさがあります。一般的にマンション管理は区分所有者からなる理事会を中心に管理組合を設置し、管理会社へ委託しているとこ

ろが多く、管理について積極的に関わる機会も限られます。その為、区分所有者の管理計画や修繕積立費についての知識不足、所有者としての当事者意識の不足、区分所有者間の合意形成の難しさなどで適切な維持修繕が難しくなる問題も表面化しています。

そのような問題に対応する為、令和2年6月に「マンション管理の適正化の推進に関する法律」が改正され、行政は管理組合に対し、管理の適正化を図るため、必要に応じて助言、指導を行い、不適切な場合は勧告をすることができるようになりました。また、適切な管理計画を有するマンションを認定することができる「管理計画認定制度」を導入することが出来るようになります。こういった取り組みによって管理水準を底上げし、適切な管理を維持していくことが目的であり、良好な住環境を維持していくことに対して行政の積極的関与が求められます。

Q 「マンション管理適正化推進計画の策定」と「管理計画認定制度の導入」について、本市はどのように取り組んでいくのか。

A マンション管理適正化推進計画について、管理実態調査の結果に基づき、管理に関する具体的な目標や、管理組合の運営や経理などについて求める水準のほか、適正な管理の推進を図るために本市が取り組む内容を示した「静岡市マンション管理適正化推進計画」を令和4年度から施工する予定です。また、管理組合が作成した管理に関する計画について、申請に基づき、本市が適切と認められるものを認定する「管理計画認定制度」も同時に開始する予定です。

この制度が広く浸透することで、管理組合の意識向上と適正管理が図られ、安全で良質な住環境の形成が推進されるものと考えています。

地域共生社会の実現について

重層的支援体制整備事業

地域共生社会の実現に向け、市区町村の相談支援体制を強化する社会福祉法などの一括改正法が国会で成立し、令和3年4月に施行された。改正法では、市町村が主体となって高齢・障がい者福祉・子育て・生活困窮の相談支援に関する事業を、関係機関や地域住民と連携し一体となり実施し、「誰の相談も受け止める包括的な相談支援体制」を構築。更に地域の資源を生かした就労、居住支援を行い社会参加を促す「参加支援」、そして地域社会からの孤立を防ぎ多世代との交流や多様な活躍の場を確保することをめざす「地域づくり支援」など属性・世代を問わない相談・地域づくりの実施体制として「重層的支援体制整備事業」を創設。



Q 本市は重層的支援体制への移行についてどのように取り組んでいくのか。

A 本市では令和3年度から国の補助を受けて重層的支援体制の整備のための準備事業に取り組んでいる。具体的には月1回程度、関係課による担当者会議を開催し、現状と課題について意見交換を行うとともに、各分野の相談支援機関同士の連携状況を調査している。



生活支援コーディネーター配置業務について

生活支援コーディネーター

別名「地域支え合い推進員」と言われており、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していく事を目的とし、地域住民のボランティアによる見守りや生活支援といった地域での支え合い体制づくりのため、ネットワークづくりや支援ニーズやサービスのマッチングなどの役割を担う。



Q 生活支援コーディネーターは現在のどのような活動をしているのか。また、事業を円滑に進めるために市はどのような支援を行っているのか。

A これまで生活支援コーディネーターは、単位自治会や民生委員、地域包括支援センター等の関係者を訪問し、地域の困りごとや地域課題に関するヒヤリングを行ってきた。そしてその内容を基に、「地域支え合いネットワーク会議」を開催し、課題解決に向けた活動を開始している。

また、行政は生活支援コーディネーターの活動内容を随時把握し、必要に応じて現場に出向き指導するなど、地域の支え合い活動が更に発展するよう継続的な支援を行っている。

中山間地調査特別委員会



9月22日、中山間地調査特別委員会を開催いたしました。今年度は私が委員長に就任し、本市の中山間地域をどのように発展させていくか、住みやすい環境をどのように作っていくかを調査し、市長へ提言してまいります。

本年度の調査事項としては、令和5年度から本市の最上位計画が改定される事に向け、中山間地域の振興策を提言していくこととしました。具体的な事業としては、今年度中に中山間地へ整備される光回線の活用についてや、林業の振興、現在様々な使用規制のある土地の活用など多岐に渡る項目を検討していきます。



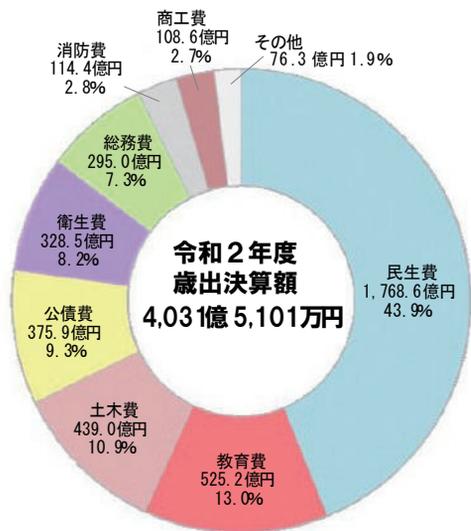
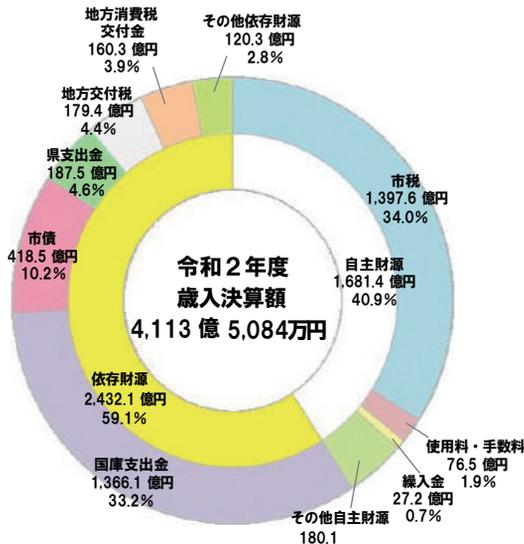
令和2年度 静岡市決算

令和2年度一般会計の決算額

歳入総額が 4,113 億 5,084 万円（前年度比 27.2%増）

歳出総額が 4,031 億 5,101 万円（前年度比 28.7%増）

決算のポイント 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として814億円を支出



財源としては、国庫支出金 789 億 9,682 万円、寄付金 5,400 万円、市債 410 万円、一般財源 10 億 3,381 万円を活用しました。

又、感染症対策に必要な一般財源や徴収猶予による市税の減収等を補うため、事務事業の見直しを行うと共に、減収補填債や行財政改革推進債を活用し、財源の確保を図りました。

企業消防委員会 決算審査

企業消防委員会が所管する上下水道事業、消防事業の決算審査を行いました。



決算に関する意見として上下水道局には上下水道管路の布設替えが計画より遅れている旨を指摘し、適切に進めていくことを指摘するとともに、技術者の育成を要望しました。

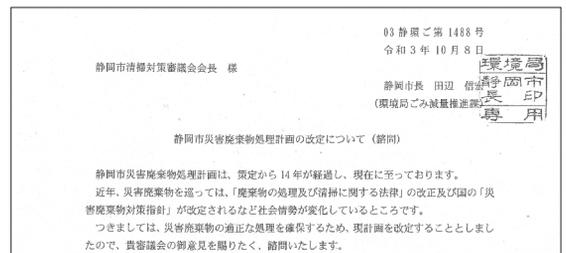
消防事業ではコロナ禍での救急体制について、他市で搬送困難事例があることにふれ、現在本市の状況は落ち着いているが、今後予想される第6波への準備を怠らないようにと要望いたしました。

静岡市清掃対策審議会

10月8日、清掃対策審議会が開催され、本年度の副会長にご指名いただきました。

今回、市長より諮問を受け「災害廃棄物処理計画の改定」について審議してまいります。災害廃棄物を巡っては国の指針が改定され、災害が多様化している背景から現状に合わせた改定が必要となっています。

本市においても様々な想定を行い、災害発生後の早期の復旧・復興につなげるとともに、体制や事務手続きをあらかじめ定めておくことで効果的な廃棄物の適正処理につなげることが可能です。いずれにせよ議論を尽くし答申をまとめてまいります。



静岡市災害廃棄物処理計画の改定案について



令和3年度9月補正予算 93億94万円

「新型コロナウイルス感染症対策」として、「市民の安全・安心の確保」、「地域経済の活性化」及び「デジタル化の推進」をキーワードに予算を編成

9月補正予算 主な事業

新型コロナウイルス感染症対策 約34億2千万円

★ 在宅ドクターサポート事業



自宅療養する感染患者等に対し、体調変化の早期発見、適時適切な治療の提供のため、医師による電話等での健康観察を拡充

★ 事業者応援金支給事業

- ・対象者 市内の中小法人及び個人事業者
- ・支給要件 令和3年8月又は9月の売上が令和元年又は2年で同月と比較して30%以上50%未満減少していることなど
- ・上限額 中小法人10万円/月、個人事業者5万円/月



地域経済の活性化 約3億5千万円

地域型宿泊誘客事業費助成

市内宿泊事業者を中心に組織された団体が、地域や事業者の課題等に応じて実施する誘客事業に対する助成



地域消費促進キャンペーン事業

- ・実施内容 対象店舗で1,000円以上の買い物をした方に、抽選で総額8,000万円相当の豪華地場産品等をプレゼント
- ・対象店舗 静岡・清水の中心市街地活性化区域内の商店街・大型店 約1,400店
- ・実施期間 令和4年1月下旬から2週間



デジタル化の推進 約7億4千万円

学習用情報端末整備事業

「小中学校1人1台端末」の全学年における運用を早期に開始するため、小学1・2年生分及び学級担任以外の教員分の学習用情報端末等を前倒して整備



インフラ分野のDX推進プラン策定事業

- ・実施内容 デジタル化の最新技術の整理
インフラ業務分野の課題整理
導入・活用技術等の選定
推進プランの策定



地域・多世代交流型住宅 ココファン静岡南八幡



南八幡町に8月オープンした地域・多世代交流型住宅「ココファン静岡南八幡」を使用したS型デイサービスの試験実施があり見学してきました。

この施設は高齢者をはじめ多世代が住む住宅と地域の交流を生み出す事を目的としたスペースで構成されています。いつもは別会場で開催しているS型デイサービスを今後この施設を使って開催し、住人も参加してもらいたいとの考えです。

実際に開催してみると音の問題や、スペースの使い方、道具の搬入搬出など多くの課題が見えてきました。取り組みはまだ始まったばかりですが、地域・施設・行政がしっかりと手を組んで今後、課題を解決しながら活用していく必要があります。

私も地域の議員としてしっかりサポートしていきます！